

「企業視点での経済安全保障現場化ノウハウ ： 職能部署別の対応」へのコメント

2026年3月13日RIETI公開BBLウェビナー
コメンテータ 井上誠一郎（RIETI理事）

※本コメントは、自らの責任で個人的な見解を述べるものであり、独立行政法人経済産業研究所の見解を示すものではありません。

感想

- 「経済安全保障の確保」は、政府の施策の立案・実施とともに、民間企業による対応が不可欠であり、「官民協働」の成否にかかっています。
- 本日は、地経学研究所の田上英樹主任客員研究員から、民間企業の視点に立って、経済安全保障をどのように捉え、行動していくべきか、具体的なガイダンスを分かりやすく御説明いただきました。
- とりわけ、職能部署別（経営企画部、人事部、財務部、法務部、広報部等）の留意ポイントや、「経済インテリジェンス」に関する情報の収集・活用の考え方は大変有用なノウハウであると思われ、それらの共有に感謝します。

御質問

- 「経済インテリジェンス」に関し、民間企業の実務担当の方々は、RIETIをはじめとしたシンクタンクから発信される情報・分析をどのように収集し、活用すべきでしょうか？

御質問の背景：RIETIの研究活動と知見共有

- RIETIは、経済産業政策の立案への寄与等を目指し、特に実証的な経済分析に注力しています。
- その一環で「経済安全保障」に関する経済分析にも取り組んでおり、RIETIのホームページ上で以下のように特集ページも設けています。



今日の国際社会は、米ソ冷戦終結後続いたグローバリゼーションの時代が終わる歴史的転換期の様相を呈しており、地政学リスクの高まりとともに経済安全保障が重要なテーマとなっています。特に我が国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。そこで、経済産業研究所（RIETI）でも、データに基づく実証分析等の各種の経済分析に基づいて経済産業への影響を把握し、学術的知見から経済政策、貿易政策、産業政策に提言を行うことが期待されています。このため、RIETIで行われた関連研究を特集としてまとめ「見える化」することと致しました。

なお、本特集ページはRIETIの責任編集によるリンク集で、ウェブサイトに公開したコンテンツからRIETIがテーマに関連していると判断して抽出したものです。

[コラム・寄稿](#) | [シンポジウム](#) | [BBLセミナー](#) |

[ディスカッション・ペーパー／ポリシー・ディスカッション・ペーパー](#) | [RIETIの活動](#)

ディスカッション・ペーパー／ポリシー・ディスカッション・ペーパー

2026年2月 26-J-008

トランプ関税2.0の影響と企業の対応はどう異なるか：企業アンケート調査による記述的分析

 伊藤 万里（リサーチアソシエイト）／神事 直人（ファカルティフェロー）／直井 恵（カリフォルニア大学サンディエゴ校）

 [本文をダウンロード \[PDF:691KB\]](#)

 [ノンテクニカルサマリー](#)

2026年2月 26-E-018

International Engagement and the Greenness of Manufacturing Firms

 Robert J R ELLIOTT（バーミンガム大学）／KUAI Wenjing（湖南大学）／大久保 敏弘（ファカルティフェロー）／Ceren OZGEN（バーミンガム大学 / IZA）

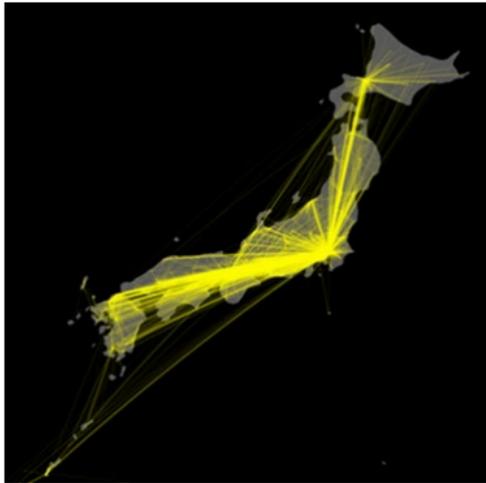
 [本文をダウンロード \[PDF:1.9MB\] \(英語\)](#)

 [ノンテクニカルサマリー](#)

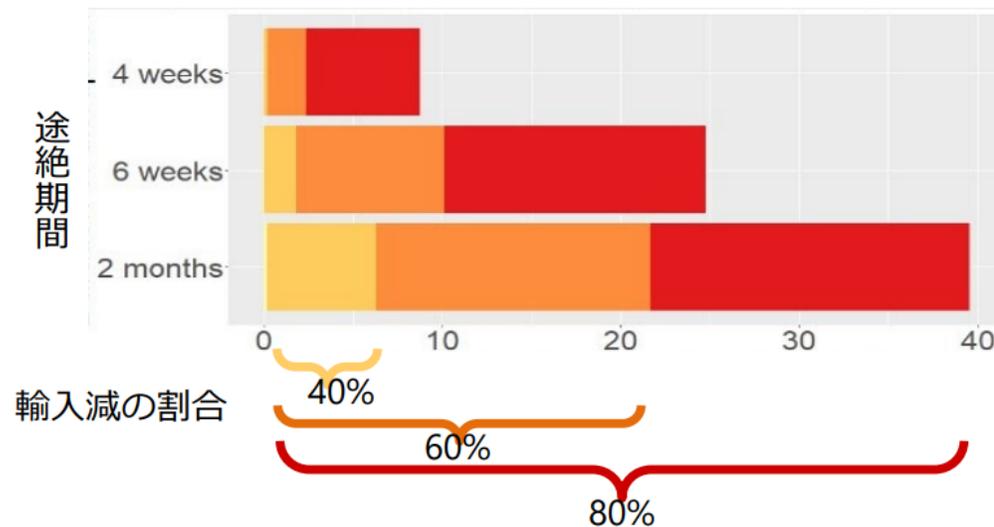
RIETIによる研究活動の例

- RIETIの貿易投資プログラムディレクターを務める戸堂康之教授（早稲田大学）が2025年1月にRIETI Policy Discussion Paper「経済安全保障を踏まえたサプライチェーン・産業政策のあり方」を公表しています。
- その中で東京商工リサーチや経済産業省「企業活動基本調査」のデータを接続し、貿易途絶の影響をシミュレーションした分析を紹介しています（戸堂教授が2025年6月のRIETI/BBLで説明された以下の図を参照）。

日本の100万社以上の企業とその詳細な取引先を含むデータを利用したシミュレーション



中国からの輸入減による日本の付加価値生産の減少額予測値（対GDP比%）



中国からの輸入途絶の影響は国内サプライチェーンを通じて増幅
→ トータルの影響は甚大に

< 出所 >
戸堂康之「日本の戦略：トランプ政権下の関税政策にどう対応するか」（2025年6月9日 RIETI/BBL）
<https://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/25060901.html>

< 原典 >
Inoue H. and Todo Y. (2023), 'Disruption of international trade and its propagation through firm-level domestic supply chains: A case of Japan', PloS one, 18, 11, e0294574

RIETIによる知見共有の例

➤ 2025年12月16日に国際シンポジウム「サプライチェーンの脆弱性に関する経済分析」を開催しました。

【発表者・討論者】

セッション1「サプライチェーンリスクの緩和に向けた取り組みについて」

- Stephane BOURG (Director of Ofremi, BRGM)
- Siyamend AL BARAZI (Head of Unit – Mineral Economics – German Mineral Resources Agency, DERA)
- Simon WEIMER (Senior Manager, Raw Material Strategy and Risk Management, BMW Group)



セッション2「企業レベルのデータを用いたサプライチェーン脆弱性の分析」

- 川窪悦章 (RIETI研究員 (特任) / 大阪大学|大学員国際公共政策研究科講師)
- Steffen MUELLER (Professor of Economics and Head of Department for Structural Change and Productivity, Halle Institute for Economic Research (IWH), GERMANY)
- Chad P. BOWN (Reginald Jones Senior Fellow, Peterson Institute for International Economics (PIIE))



セッション3「国際産業連関表と貿易データを用いたサプライチェーン脆弱性の分析」

- Richard BALDWIN (Non-Resident Fellow, RIETI / Professor of International Business, International Institute for Management Development (IMD))
- 磯野 生茂 (日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所 開発研究センター経済統合研究グループ長)
- Angela GLOWACKI (Policy Analyst, Research Institute for Democracy, Society, and Emerging Technology (DSET))
- KIM Byung-Yeon (Distinguished Professor in the Department of Economics, Seoul National University)



セッション4「中国と東アジア」

- 伊藤亜聖 (東京大学社会科学研究所准教授)
- Joris TEER (Research Analyst for Economic Security and Technology, European Union Institute for Security Studies (EUISS) and Senior Advisor at the Chips Diplomacy Support Initiative (CHIPDIPLO))
- Alex BRISTOW (Senior Analyst – Cyber, Technology and Security Program, Australian Strategic Policy Institute (ASPI))

